



一般社団法人 日本障がい者サッカー連盟 年次報告書

# ANNUAL REPORT 2017



# サッカーなら、どんな障害も超えられる。

日本の人口の7%は障がい者です。  
その障がいは多様で、  
ひとつとして同じ在り方はありません。

障がいがあっても、いつでも、どこでも、  
サッカーを心から楽しめる環境を。

彼ら、彼女らが社会にある"障害"を超えていく  
きっかけづくりやサポートも、  
サッカーならできる。

私たちはそう信じて、  
日本障がい者サッカー連盟で活動しています。

## JIFF ANNUAL REPORT 2017 CONTENTS

### 03 会長挨拶

一般社団法人日本障がい者サッカー連盟 会長 北澤豪

### 04 topics 2017

JIFF 統一ユニフォーム制定/インクルーシブフットボール、まぜこぜスマイルサッカー開催

### 06 JIFF の活動

2017 年度事業報告 / 2018 年度事業計画

### 08 JIFF パートナー

パートナー制度について / 新たな制度 / パートナー紹介 / 2017 年度ロゴ掲載実績

### 10 7 競技団体の主な大会開催・参加実績

7つの障がい者サッカー 2017 年度の主な国内大会および日本代表戦績

### 11 JIFF 概要

理念 / ビジョン / 基本情報



## サッカーから 共生社会の実現を

一般社団法人 日本障がい者サッカー連盟

### 会長 北澤 豪



© 馬場道浩

2016年4月1日に本連盟が設立され、2年経った今、確かな進歩を実感しています。これまで異なるユニフォームを着用していた7つの障がい者サッカー団体の日本代表が、2017年6月に同じブルーのユニフォームに統一。サッカー日本代表の「サムライブルー」とはまだ異なりますが、障がい者サッカーが一丸となり、力強く前進しています。その流れは、強化面にとどまりません。地域では健常者と様々な障がい者がまぜこぜで楽しめる「インクルーシブフットボールフェスタ」、「まぜこぜスマイルサッカー」の開催など、サッカーを楽しむ機会を提供し、そのうねりは全国へと広がりを見せつつあります。

本連盟が設立するよりも前、私は2002INAS-FID世界サッカー選手権大会（知的障がい者サッカーの世界大会）で日本代表チームのテクニカルアドバイザーを務めたことを機に、障がい者サッカーと関わるようになりました。活動していく中で、残念ながら、日本ではまだまだ障がい者スポーツへの認知度が低く、また理解も進んでいないことを感じました。

日本の障がい者サッカーは、今まさに発展途上です。このような活動の積み重ねが、私たちの目指す共生社会の実現へ繋がるものと考えています。本連盟は7団体とともに、日本サッカー協会やサッカー関連団体と力を合わせて、さらなる普及・発展に努めてまいります。今後ともますますのご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

2018年4月

# topics 2017



## 7つの障がい者サッカー日本代表 13 チーム、ブルーの統一ユニフォームで世界へ

### 2017年6月、JIFF 統一ユニフォームを制定

2017年6月29日、障がい者サッカーにとって歴史的な一日となりました。この日、一般社団法人日本障がい者サッカー連盟（以下、JIFF）は、アディダス ジャパン株式会社から障がい者サッカー7競技団体の日本代表チームへ統一されたデザインのユニフォーム提供が決まったことに伴い、発表会を開催。JIFFの北澤豪会長と7競技団体から日本代表選手各1名、公益財団法人日本サッカー協会の田嶋幸三会長も登壇しました。

障がい者サッカーには7つの競技団体、13カテゴリーの日本代表があります。これまではサッカー日本代表の「サムライブルー」とも違う、7競技団体それぞれに色もデザインも異なるユニフォームを着用してきました。健常者も障がい者も関係なく、選手たちには日本代表として「サムライブルー」と同じユニフォームで戦いたいという思いがあります。しかし、健常者のサッカーも障がい者のサッカーも、それぞれ多くの企業や協賛者の皆さまのサポートがあって成り立っており、すべてのサッカーのユニフォーム統一は簡単に決められることではあ

りませんでした。多くのサポートへの敬意と感謝をもちながら、将来同じユニフォームで戦うことを目指していきます。今回の統一ユニフォーム制定は、そこへの大きな前進となりました。

新しいユニフォームは、サッカー日本代表のユニフォームカラーとして象徴的なブルーをベースにしています。発表会で実際に袖を通した7人の日本代表選手は「一体感」や「誇り」という言葉とともに、このユニフォームでの健闘を誓いました。北澤豪会長も「まずは7競技団体がひとつにまとまり、ベクトルを合わせて世界と戦い、新しいユニフォームの価値を高めていきましょう」とコメント。このブルーのユニフォームを着た13の日本代表がたくさんの応援を得て世界で躍進できるよう、JIFFも活動支援していきます。

（写真：統一ユニフォーム発表会時。後列左から、アンブティサッカー・古城暁博選手／CPサッカー・浦辰大選手／ソーシャルフットボール・松崎俊太郎選手／北澤豪 JIFF 会長／知的障がい者サッカー・安達寛人選手／ブラインドサッカー・川村怜選手／デフサッカー・仲井健人選手／前列、電動車椅子サッカー・塩入新也選手）



## 障がいの有無も、種別も、あらゆる "違い" を超えて混ざり合う社会を

### インクルーシブフットボール、まぜこぜスマイルサッカーを開催

JIFFでは、共生社会の実現に向けて障がいの有無や種別に関係なく、まぜこぜで楽しむサッカーを「インクルーシブフットボール」と呼び、実施・普及を推進しています。2016年度につづき、2017年度も在籍のJリーグ、なでしこリーグ、Fリーグの各クラブから協力を得て、12月24日に東京都多摩市で「JIFF インクルーシブフットボールフェスタ」を開催しました。実施内容は小学生を対象としたインクルーシブフットボールと、ブラインドサッカー、アンブティサッカー、電動車椅子サッカーの3つの体験会。総勢335名が参加し、子どもも大人も楽しみました。

また、2017年度は新たな形にもチャレンジしました。4月2日の「世界自閉症啓発デー」にあわせて毎年開催されている『Warm Blue』キャンペーン（一般社団法人 Get in touch 主催）に JIFF は 2016 年から 3 回連続で参加し、2018年3月31日にはフロントタウンさぎぬま（川崎市宮前区）で「まぜこぜスマイルサッカー」を実施。走る、接触、浮き玉等が禁止となる「ウォーキ

ングフットボール」（歩くサッカー）を初めて導入し、障がいの有無や種別、年齢、性別も関係なく、混合チームで行いました。7つの障がい者サッカーは普段それぞれ異なる形態やルールでプレーしており、混合でのプレーが難しい面もあります。今回は全員が同じピッチで楽しむことを目的に、一部特別ルールもつくりました。なかでも電動車椅子サッカーとブラインドサッカーのプレーヤーが同じピッチでサッカーをするのは初でした。

試合への参加者は96名、見学者やメディアを含めると総勢100名以上が来場。参加者のほぼ半数が障がい者であり、障がいの種別もさまざま、全体の年齢層も10歳未満から70代までと言葉どおり「まぜこぜ」での実施でした。参加者からは、異なる障がいのある人同士の交流も新鮮だったという声が多く寄せられました。

今回のチャレンジにより、障がいの有無や種別などさまざまな "違い" を超え、同じピッチで一緒にサッカーを楽しむ環境づくりへの新たな可能性を見出すことができました。

# JIFF の活動

## 2017 年度事業報告

JIFF は 2017 年度から「JIFF 補助金制度」の運用を開始し、本連盟の社員である障がい者サッカー 7 団体の活動に対し補助金を拠出しました。また、アディダス ジャパン株式会社とのパートナーシップ契約により、7 団体の各日本代表チームのユニフォームデザインを統一し、2021 年 3 月までの 4 年間、各日本代表チームのユニフォーム一式を無償提供できるようになりました。このように、社員の各活動に対し、財政面・物質面で初年度よりも大きなサポートを実現することができました。

普及促進事業においては、昨年度に引き続き『Warm Blue』キャンペーンに参加し、新たに障がい者サッカー体験会等を実施しました。主催事業であるインクルーシブフットボールフェスタにおいては、昨年度と同様 12 月 24 日に開催し、健常者と障がい者が混ざり合うサッカーの楽しさを発信することができました。障がい者サッカーに関する講演や体験会等の依頼も増え、それらを実施することで、障がい者サッカーや障がいの理解促進に努めました。

### 7 つの障がい者サッカー団体の活動支援

#### ■ JIFF 補助金制度の運用

JIFF パートナーの協賛金等を原資とし、社員である障がい者サッカー 7 団体の組織基盤強化や障がい者サッカーの強化・普及に寄与する活動を支援するため、JIFF 補助金制度を運用。

#### ■ その他の事業

- ・ 各種会議・研修会の開催
- ・ ボランティア組織の整備
- ・ JIFF パートナー制度の充実

#### ■ 日本代表ユニフォームの統一

アディダスジャパン株式会社とのパートナーシップ契約により、7 団体の日本代表チームのユニフォームデザインを統一。

#### ■ 情報発信

より広く障がい者サッカーをご理解いただけるよう、公式サイトや SNS の運用についても改善。



### 共生社会の実現に向けた事業

#### ■ イベント実施・参加実績

4月2日(土)	「Warm Blue 2017」に参加し、体験会等を実施
5月5日(金)・6日(土)	東京国際ユース(U-14)サッカー大会にて体験会等を実施
6月29日(水)	障がい者サッカー7競技団体統一日本代表ユニフォーム発表会を開催
7月29日(土)	大宮アルディージャ オレンジハッピースマイルカップにてブースを出展
8月26日(土)	パラロック・キックオフイベントにてブースを出展
12月3日(日)	港区「東京2020パラリンピック」開幕1000日前イベントinお台場に協力
12月9日(土)	千代田区主催障がい者サッカー講演会・体験会に協力
12月24日(土)	JIFF インクルーシブフットボールフェスタ2017を開催
3月31日(土)	「Warm Blue 2018」に参加し、「まぜこぜスマイルサッカー」を実施

#### ■ 講演実績(事務局実績)

中国サッカー協会研修会/静岡県 FA クラブ・ウェルフェアオフィサー研修会/Jリーグ契約担当者会議/UCL BIZ セミナー/八王子特別支援学校/明治安田生命厚生事業団/鹿屋体育大学シンポジウム/The Football Conference Gunma 2018 /横浜市教職員組合 教育セミナー/陸前高田市講演会/伊丹市障害者スポーツ協会セミナー/JMAS カンファレンス 2017 /フットボールカンファレンス愛知/A&S リーグスポーツ部会 ほか 全 24 件

#### ■ その他の事業

- ・ 障がい者サッカーに関する相談窓口の設置・運営(通年)
- ・ JFA 公認指導者・審判員への障がい者サッカーの理解促進(通年)

## 2018 年度事業計画

2018 年度は JIFF の設立 3 年目となります。JIFF の理念であるサッカーを通じた共生社会の実現を目指し、障がい者サッカー全体の認知度の向上、各競技の強化・普及、および社員の組織基盤強化に対し、より良いサポートを行っていきと共に、障がいの有無や障がいの種別に関係なく、みんなが一緒に楽しめる「インクルーシブフットボール」を推進していきます。

### 7 つの障がい者サッカー団体の活動支援

- ・ 各種会議・研修会の開催
- ・ ボランティアの活用
- ・ JIFF パートナー制度の充実
- ・ JIFF 補助金制度の実施
- ・ 手話通訳費用の補助制度の構築\* (以下、新たな制度の策定参照)
- ・ 情報発信の強化(メールマガジン開始)

### 共生社会の実現に向けた事業

- ・ 障がい者サッカーに関する相談窓口
- ・ 障がい者サッカーの情報収集および発信
- ・ JFA 公認指導者に対する障がい者サッカー活動への参加促進
- ・ JIFF 指導者登録制度の開始\*(以下、新たな制度の策定参照)
- ・ 「JIFF インクルーシブフットボールフェスタ 2018」の開催
- ・ 全国展開を視野に入れた地元主体での「インクルーシブフットボールフェスタ」の地方開催

## 新たな制度の策定

### 手話通訳補助金交付制度

日本サッカー協会(JFA)または47都道府県サッカー協会、それらの傘下にある協会/連盟等が主催する指導者養成講習会および審判員養成講習会等について、聴覚障がい者が不便なく受講できるように、主催者に対し手話通訳費用を補助する制度を構築いたします。さらに、本制度をひとつのきっかけとし、聴覚障がい者のスポーツ参画の機会を増やしていくため、多くの方からの寄付により拡大・継続していきたいと考えています。



### JIFF 指導者登録制度

JIFF は JFA と連携し、JFA が 2017 年度より JFA あるいは 47 都道府県サッカー協会が主催する有資格指導者向けのリフレッシュ研修会に障がい者サッカーコースを導入したことにともない、新たに「JIFF 指導者登録制度」を設けます。本制度は全国で障がい児・者がサッカーの指導を受けプレーできる環境の実現を目的としており、当該研修会の修了者を対象に JIFF が登録証を発行いたします。



(左)インクルーシブフットボールコーチ登録証=有資格者のみを対象とした「障がい者サッカーコース」修了者が対象/(右)JIFF 普及リーダー登録証=「障がい者サッカーショートコース」修了者が対象

# JIFF パートナー

## パートナー制度について

JIFF の理念・活動に共感いただいた企業と共に、広くサッカーを通じて、障がい者と健常者が混ざり合う共生社会を築いていくための制度です。JIFF では、ご支援・ご協力いただいている法人企業のみなさまを「パートナー」と呼んでいます。一方的な支援になりがちな障がい者スポーツですが、当連盟とパートナー企業は、当連盟が理念に掲げる「障がいの有無に関わらず、誰もがスポーツの価値を享受し、一人ひとりの個性が尊重される活力ある共生社会」を共に創り上げていく『仲間』なのです。

### JIFF パートナーメリット

- パートナー企業広報活動への呼称使用
- パートナー企業広報活動への JIFF ロゴマークの使用
- JIFF 広報活動へのパートナー社名掲出
- パートナー企業広報活動への JIFF 許諾素材の使用
- 各競技団体の日本選手権でのパートナー社名掲出
- パートナー社員のボランティアへのご参画権利
- JIFF 事業・プロジェクトへの協賛権利
- 各障がい者サッカーの体験会、研修または講演の開催\*

\*「新たな制度」参照



(上) JIFF に加盟している 7 つの障がい者サッカー競技団体の、主に日本選手権およびその同等の大会において、JIFF パートナー社名またはロゴ入りの横断幕を会場に掲出  
 (左) 該当する大会の公式プログラム内に社名またはロゴ入りの障がい者サッカー紹介ページを掲載

### 新たな制度：研修プログラムのご紹介

JIFF と 7 つの障がい者サッカー団体は、サッカーを通して共生社会の創造を目指し活動しており、体験・講演・研修もその一環として、障がい者について知る機会や障がい者サッカーを通じた多様性への気づきの場の創出を目指し、新たな契約形態でのパートナー企業向けに以下のようなプログラムを実施します。

体験	研修	講演
<b>各種障がい者サッカー体験、一緒にサッカー体験</b> 障がい者サッカーを実際に体験、または一緒にサッカーやフットサルを楽しむ、参加者が今まで持っていた障がいへのイメージ等が変化していくことを目指します。障がい者理解のほか、多様性への理解や適応などの効果も。	<b>ワークショップ等によるビジネスへの応用</b> 障がい者理解につながるワークのほか、障がい者サッカー事業等により培ってきた、多様な個性・特徴をもつ組織でのコミュニケーションやチームワークの活性化など、応用的なテーマでの実施が可能です。	<b>選手または競技団体関係者による講演</b> 当事者である選手や、各障がい者サッカー団体のスタッフ・関係者等が、障がいへの理解や障がい者サッカーについて、また、障がい者を取り巻くスポーツ環境などについて知る機会として講演します。

### 公式ユニフォームサプライヤー

7 競技団体、13 カテゴリーの障がい者サッカー日本代表へ統一デザインのユニフォームをご提供



アディダス ジャパン株式会社

### JIFF パートナー ※ 2018 年 4 月時点

 株式会社協同	 株式会社クリエイティブヘッズ	 城南信用金庫	 東京海上日動 東京海上日動火災保険株式会社
 三菱商事株式会社	 日本マクドナルド株式会社	 株式会社ゼネラルパートナーズ	 ビーウィズ株式会社
 住友ベークライト株式会社	 株式会社ジェーエムエーシステムズ		

### サプライサービスパートナー

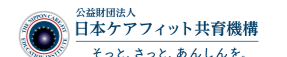
大会等で掲示する JIFF パートナーロゴ入り横断幕をご提供



共和ゴム株式会社

### アライアンスパートナー

障がい者サッカーに関するボランティアや普及・啓発・広報関連業務の連携



公益財団法人日本ケアフィット共育機構

### 2017 年度 JIFF パートナーロゴ 主な掲載実績

2017 年 5 月 13 日～ 14 日	第四回 レオピン杯 COPA AMPUTEE
2017 年 6 月 19 日	JIFF 統一ユニフォーム発表会
2017 年 7 月 1 日～ 2 日、23 日	第 16 回 アクサ ブレイブカップ ブラインドサッカー日本選手権
2017 年 9 月 30 日～ 10 月 1 日	日本電動車椅子サッカー選手権大会 2017
2017 年 10 月 21 日～ 22 日	第 17 回 CP サッカー全日本選手権大会
2017 年 10 月 28 日～ 29 日	第 17 回 全国障害者スポーツ大会兼第 2 回 ソーシャルフットボール全国大会
2017 年 11 月 11 ～ 12 日	第 7 回 日本アンパティサッカー選手権大会
2018 年 3 月 17 日～ 18 日	第 15 回 全日本知的障害者サッカー選手権大会
2018 年 3 月 21 日～ 25 日	IBSA ブラインドサッカーワールドグランプリ 2018
2018 年 3 月 24 日～ 25 日	第 10 回 全日本ろう者フットサル選手権エンジョイ大会
2018 年 3 月 31 日	『Warm Blue』キャンペーン「まぜこぜスマイルサッカー」

ほか、全 22 件

# 7 競技団体の主な大会開催・参加実績

JIFF 加盟 7 競技団体が 2017 年度に開催または参加した主な大会のご紹介です。(青地は日本代表、白地は国内大会)

4月	5月6日 <b>ブラインドサッカー女子日本代表</b> <span style="color:red">●</span> <b>優勝</b> IBSA 女子ブラインドサッカートーナメント 2017 @オーストリア
	5月13日~14日 <b>アンプティサッカー国内大会</b> <b>優勝: FC アウボラーダ</b> 第四回 レオピン杯 COPA AMPUTEE @大阪府
5月	5月25日~6月5日 <b>ロービジョンフットサル日本代表</b> <span style="color:red">●</span> <b>8位</b> IBSA ロービジョンフットサル世界選手権 2017 @イタリア
	6月24日~25日 <b>アンプティサッカー日本代表</b> <span style="color:red">●</span> <b>3位</b> Amp Futsal Cup 2017 第6回 国際アンプティサッカートーナメント @ポーランド
6月	7月5日~9日 <b>電動車椅子サッカー日本代表</b> <span style="color:red">●</span> <b>5位</b> 2017 FIPFA WORLD CUP @アメリカ
	7月1日~2日、23日 <b>ブランドサッカー国内大会</b> <b>優勝: たまハッサーズ</b> 第16回 アクサ プレイバック ブランドサッカー日本選手権 @神奈川県/東京都
7月	7月18日~30日 <b>デフサッカー男子日本代表</b> <span style="color:red">●</span> <b>予選敗退</b> 第23回夏季デフリンピック競技大会サムスン 2017 @トルコ
	9月10日~23日 <b>CPサッカー日本代表</b> <span style="color:red">●</span> <b>16位</b> 2017 IFCPF World Championships (CP サッカー世界選手権大会) @アルゼンチン
8月	9月23日~24日 <b>デフサッカー国内大会</b> <b>優勝: 埼玉県</b> 第51回全国ろうあ者体育大会 @静岡県静岡市
	9月30日~10月1日 <b>電動車椅子サッカー国内大会</b> <b>マックス10優勝: Yokohama Crackers / パワフル6 優勝: SFC デルティーズ</b> 日本電動車椅子サッカー選手権大会 2017 @静岡県
9月	10月21日 <b>CPサッカー国内大会</b> <b>優勝: エスペランサ</b> CP サッカー全日本選手権 @岐阜県
	10月28日~29日 <b>ソーシャルフットボール国内大会</b> <b>優勝: Espacio</b> 第17回全国障害者スポーツ大会 精神障がい者フットサル 兼 第2回ソーシャルフットボール全国大会 @愛媛県
10月	11月11日~12日 <b>アンプティサッカー国内大会</b> <b>優勝: FC 九州バイラオール</b> 第7回日本アンプティサッカー選手権大会 2017 @神奈川県
	12月9日~18日 <b>ブラインドサッカー男子日本代表</b> <span style="color:red">●</span> <b>5位</b> IBSA ブラインドサッカーアジア選手権 2017 @マレーシア
11月	2月24日 <b>ブラインドサッカー女子日本代表</b> <span style="color:red">●</span> <b>勝利</b> さいたま市ノーマライゼーションカップ 2018 (親善試合: 女子アルゼンチン選抜) @埼玉県
	3月3日~4日 <b>ブラインドサッカー国内大会</b> <b>優勝: Avanzare つくば</b> KPMG カップ ブラインドサッカークラブチーム選手権 2018 @神奈川県
12月	3月17日~18日 <b>知的障がい者サッカー国内大会</b> <b>優勝: 神奈川県選抜</b> 第15回全日本知的障害者サッカー選手権大会 '18 チャンピオンシップ @岐阜県
	3月21日~25日 <b>ブラインドサッカー男子日本代表</b> <span style="color:red">●</span> <b>5位</b> IBSA ブラインドサッカーワールドグランプリ 2018 @東京都
1月	
2月	
3月	

# JIFF 概要

## 理念

広くサッカーを通じて、障がいの有無に関わらず、誰もがスポーツの価値を享受し、一人ひとりの個性が尊重される活力ある共生社会の創造に貢献する

## ビジョン

### 普及

障がい者サッカーの普及に努め、社会に根付いたものとなることで、誰もが、いつでも、どこでもスポーツを楽しめる環境を創りあげる

### 強化

障がい者サッカーの強化に努め、日本代表が世界で活躍することで、人々に勇気と希望と感動を与える

### 組織

健全な組織の構築に努め、社会的責任を果たしていくことで、障がい者サッカーの価値を向上する

## 基本情報

- 名称 : 一般社団法人 日本障がい者サッカー連盟 (Japan Inclusive Football Federation)
- 設立 : 2016年4月1日
- 役員 ※2017年度時点
  - 会長 : 北澤 豪
  - 副会長 : 矢島 久仁彦 (特定非営利活動法人 日本アンプティサッカー協会)  
斎藤 紘一 (特定非営利活動法人 日本知的障がい者サッカー連盟)
  - 専務理事: 松田 薫二 (公益財団法人 日本サッカー協会)
  - 理事 : 植松 隼人 (一般社団法人 日本ろう者サッカー協会)  
神 一世子 (一般社団法人 日本 CP サッカー協会)  
田中 暢子 (桐蔭横浜大学)  
徳堂 泰作 (特定非営利活動法人 日本ソーシャルフットボール協会)  
松崎 英吾 (特定非営利活動法人 日本ブラインドサッカー協会)  
山木 譲 (一般社団法人 日本電動車椅子サッカー協会)
  - 監事 : 利水 啓剛 (バックアップ会計事務所)  
友野 海也
- 社員構成 : 特定非営利活動法人 日本アンプティサッカー協会  
一般社団法人 日本 CP サッカー協会  
特定非営利活動法人 日本ソーシャルフットボール協会  
特定非営利活動法人 日本知的障がい者サッカー連盟  
一般社団法人 日本電動車椅子サッカー協会  
特定非営利活動法人 日本ブラインドサッカー協会  
一般社団法人 日本ろう者サッカー協会
- 所在地 : 〒113-8311 東京都文京区サッカー通り (本郷3-10-15) JFA ハウス内
- 公式サイト : <http://www.jiff.football>
- Facebook : <https://www.facebook.com/jiff.football/>
- 相談窓口 : 03-3818-2031 (平日 13:00 ~ 17:00) ※障がい者サッカーに関する相談窓口



サッカーなら、どんな障害も超えられる。